

【網引・新市・戸手学区】学校再編に係る地域説明会 概要

* 分かりやすくするため、一部補足を加えています。

【日時】 2020年（令和2年）12月26日（土） 19:30～21:15

【場所】 新市公民館 ホール

【出席】 参加者 38人（地域、保護者）

行政 12人（教育長、教育次長、管理部長 他）

【内容】

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 出席者自己紹介
- 4 説明
 - ・ 取組経過について
 - ・ 学校再編について
 - ・ 今後のスケジュール
- 5 意見交換
- 6 閉会

あいさつ

教育長

日頃から、新市中央中学校、網引小学校、新市小学校、戸手小学校の教育推進に、多大なる御支援、御理解をいただいていることに心から感謝申し上げます。

学校再編について、今日まで2年間にわたり取組を行ってきましたが、意見交換や説明の場がなかなか持たずに今日に至っています。コロナウイルス感染症等の影響があるとはいえ、このような状況になっていることについてお詫びいたします。

教育委員会としましては、本日の地域説明会でこれまでの経過や再編についての考え方を説明させていただき、2022年4月の開校に向けて準備を始めたいと考えています。皆さんの率直な意見をいただく中でしっかりと取り組んでまいります。

12月17日に常金丸学区で地域説明会を開催しました。保護者・地域の方々に対して、より良い学びの環境を整えるために常金中学校と新市中央中学校を再編し、新しい学校をつくること、そのために、1月に開校準備委員会を設置し、両中学校区の皆様と一緒に話し合いを進めていく考えを説明しました。

地域説明会後の新聞報道において、教育委員会が進める「再編」の取組を「統廃合」という言葉で報じられました。教育委員会は、規模の小さい学校を大きい学校に吸収する統廃合という考えではなく、それぞれの学校が培ってきた歴史や伝統を踏まえ、大事にしながら新しい学校をつくる再編という考えで取組を進めています。新聞社に対して、教育委員会が説明した内容が正しく報じられていないことに強く抗議しています。

本日の地域説明会を新たなスタートとして、子どもたちにとってより良い教育環境を作っていきたいと考えています。御理解と御協力をお願いいたします。

新市学区町内会連合会 河上会長

今月15日、新市町内の4学区の地域・保護者代表が一堂に集まり、「同じ立場で常金中学校・新市中央中学校の再編に向けた忌憚のない意見交換をしましょう」という話をさせていただきました。この再編をチャンスととらえて、子どもたちの未来の教育をどのようにしていくかということ地域とPTAも一緒になって考えていきたい。子どもたちのために、より良い教育環境を整えていきましょう。

説明

(学校再編推進室長)

これまでの取組経過、学校再編と今後のスケジュール(案)について説明。

意見交換(出席者から出された意見等)

■ 再編について

- なぜ「再編」なのか。「統廃合」で良いのではないか。再編という考えでないと、リフレッシュ工事や教職員の加配はできないのか。統廃合であれば、話し合う内容も少なくなり、話し合いがスムーズに進むのではないか。統廃合では互いを尊重した取組にならないということではない。
- 今後、他の地域で再編の取組を行う際は、事前に地域や保護者と、再編と統廃合のどちらにするか議論する場を設けてはどうか。そうすることでスムーズに取組が進められるのではないか。

→ (回答)

再編という考え方でなければ、リフレッシュ工事や教職員の加配を行うことができないということではありません。「統廃合」ではなく「再編」という考えで取り組む理由は、子どもたちへの思いが一番にあります。

統廃合は、規模の小さい学校が大きい学校に吸収されることと捉えられます。どちらの学校にも、それぞれに素晴らしい歴史と伝統、取り組んできた教育活動があります。それらを新しい学校に大切に引き継ぎ、二つの学校を同じ立場で一つの学校にし、より良い教育環境としていくのが再編の取組です。

大きいものが強く、小さいものは弱いということではありません。互いの違いを認め合い、尊重し合うことが大切であり、これから子どもたちが生きていくグローバル化がより進んだ世界では、必要な力と考えています。私たち大人が、子どもたちにこの取組、行動を通してそのことを示していきたいと考えています。

(回答に対して)

- 再編は、それぞれの地域の良さ、特徴を活かしながら進めていく取組、再編により子どもたちにとっての地域が広がっていく。再編という取組は、両地域を大事にするという配慮のあるものだとして理解した。

- 中学校同士が再編されたケースは過去にあるのか。ある場合、どのように取り組んだのか。

→ (回答)

中学校同士の再編は初めてです。現在、千年・内海中学校区で5つの小学校と2つの中学校の再編に取り組んでいますが、子どもたちがスムーズに新しい環境になじめるように、中学校間で、生徒同士の交流事業を、効果的な内容となるよう計画し、実施しています。

(回答に対して)

- 子どもたちの不安が少しでも軽減できるよう取り組んでほしいと思う。この再編が、中学校同士の再編の成功例となるよう応援している。

■ 校名について

- 福山市には中央中学校があり、校名が被っているため、新市中央中学校という校名を変えたくて再編するのではないのか。常金中学校と新市中央中学校では、学校規模が違い、新市中央中学校の校名を変更する必要がないと思うのでそのように感じる。

→ (回答)

学校再編は、学校規模・学校配置を適正化し、教育環境を向上させることが目的であり、校名を変えることが目的ではありません。新しい学校づくりをしていくため、校名も、開校準備委員会の中で両地域の皆さんと一から話し合っていて決めていきます。

- 再編により、校名・校歌・校章・校旗・制服が変更されることについて納得できていない。それらに変更される場合のメリット、デメリットを教えてください。

→ (回答)

2020年4月に、2つの小学校が再編によって新しい学校名、校歌、校章で開校しました。子どもたち・地域・保護者が新しい学校の歴史を作っていくという共通の思いを持ってスタートできたことが良かったと思っています。

新市中央中学校区では、校名を残したいという意見を多く聞いています。再編という考え方で取組は進めていきますが、校名を必ず変更しなければならないということではありません。開校準備委員会の話し合いの中で、「新しい学校の名前は新市中央中学校とする、校歌や校章、制服は新市中央中学校のものを引き継ぐ」ということに決まれば、その決定を尊重したいと考えています。

- 校名・校章等を変更しないことで430万円程の予算が不要となると聞いたが、そのうちのどの程度の予算を子どもたちのために活用できるのか。

→ (回答)

執行予定がなくなった予算は、子どもたちの教育環境の充実のために、教職員や子どもたち、保護者や地域の皆さんの意見を取り入れながら、積極的に活用したいと考えています。

■ 教育内容・教職員配置について

- 2022年4月の開校に向けて、常金中と新市中央中の教職員同士の交流はどの程度進んでいるのか。これからどのように進めていくのか。

→ (回答)

これまで、常金中学校と新市中央中学校の校長と教育委員会で、どういった学校をめざしていくのかなどについて話をしています。両中学校区がそれぞれ小中一貫教育でめざしている子どもの姿を合わせながら協議をしました。特色ある教育活動については、子どもたちが確かな学力をつけるということを基本とし、両校が進めている課題発見解決学習、ふるさと学習、子どもたちが主体となった学校行事、この3つの取組を大事にしていくことにしています。2021年1月からは両校の教員全体でしっかりと議論し、新しい学校の教育課程を作っていきます。

○ 教職員の異動についてはどのように考えているのか。

→ (回答)

両校の教職員は、退職や個別の事情がある場合を除き、新しい学校に引き継ぎます。再編に伴う加配教員を配置するなど、教職員体制を充実させます。

■ 通学支援について

○ 通学について不安を持っている生徒や保護者は多いと思う。中国バスが県道26号線を走っているが、既存のバスを活用することも視野に入れてはどうか。そうすれば、生徒が天候に応じて通学方法を選択しやすくなる。

→ (回答)

スクールバスは、時間割や学校行事に応じた時間変更や、コロナ感染防止のための増便対応など、臨機応変な対応ができるという利点があります。路線バスの活用については、スクールバスが同じルートを走るようになることから、併せて検討します。

■ 制服について

○ 制服が変更となった場合は、現在の制服を継続して着用できるような対応は考えているのか。

→ (回答)

経過措置を取り、現在の制服を引き続き着用できるようにします。

○ 常金丸地域の小学校6年生の保護者は中学校に進学する際の制服がどうなるのか気にしていると思う。情報は小学校の保護者にも提供してほしい。

→ (回答)

制服については、開校準備委員会設置後、すぐに委員会のもとにPTA部会を設置し、2月の学校説明会までに、方向性を示せるよう検討を進めたいと考えています。

■ 開校準備委員会について

○ 開校準備委員会に、生徒たちをオブザーバーとして参加させることはできるか。

→ (回答)

生徒たちも再編の取組に積極的に関わってもらいたいと考えています。開校準備委員会は夜間に開催するため、どのようにすれば参加することが可能か、どのようにして生徒の意見を取り入れていくかを検討します。

○ 生徒に対しても再編に向けたスケジュールを提示してほしい。

→ (回答)

生徒には、3学期初めに、再編の目的やこれから取り組んでいく交流事業などについて説明することとしています。開校に向けたスケジュールも示すようにします。

○ コロナウイルス感染症の影響等で開校準備委員会での話し合いが進まなかった場合、2022年4月の開校を遅らせるような対応はするのか。延期をする場合は、いつまでに判断をするつもりなのか。

→ (回答)

人数を限った代表者での委員会開催やオンライン会議の活用等も、状況に応じて考えます。

2022年4月の開校が延期にならないように取り組んでいきますが、延期が必要な状況となった場合は、教育委員会が責任をもって判断します。

○ 開校準備委員会で話し合った内容は新市町内にしっかりと周知して欲しい。

→ (回答)

委員会を開催するごとに、『開校準備委員会だより』を発行し、地域には全戸に、保護者には学校を通じて配付します。市全体にも再編について理解を広げるため、ホームページへの掲載も行います。

■ 施設整備について

○ 校舎等の環境整備は、間に合うのか。

→ (回答)

開校に向け、老朽化している建物部分のリフレッシュ工事とともに、子どもたちと地域の方々との交流の場となる『ふれあいルーム』の整備や、保護者からいただいた要望なども取り入れる中で環境整備を行っていきます。大規模な改修を行うため、外壁改修工事は、開校年度にも行います。

○ 新市中央中学校には、2室ある理科室の1室など冷暖房設備がついていない特別教室がある。今回のリフレッシュ工事に併せて、両方とも整備されるのか。

→ (回答)

授業の年間計画の中で特別教室の使用を調整して、冷暖房設備を設置する教室を決めています。暑い時期、寒い時期にどうしても冷暖房設備のない特別教室を使用しなければならない状況になれば、整備も検討していきます。

閉会

教育長

2021年1月に開校準備委員会を設置し、限られた時間の中ではありますが、しっかりと議論させていただく中で、子どもたちにとってより良い学びの環境をつくっていきたくと思っています。

新市町内の4つの小学校と2つの中学校には、今年も何度も訪れています。子どもたちや教員が一生懸命頑張っている姿をたくさん見えています。また、学校元気大賞では、地域の方々のパワーが本当にすごいと実感しています。子どもたち、教職員、地域の力がこれだけあれば、良い学校ができると思っています。責任を持って皆さんの誇れる学校をつくっていきますので、御理解と御協力をお願いします。